



左座 由紀さん
Zouza Yuki

〔下田口区〕

ぞうざ・ゆき / 小学4年生から合唱を始める。家族コーラス「左座家」でソプラノを担当。第19回全国童謡歌唱コンクール金賞など、受賞歴多数。

歌を通して感じてもらいたい 家族のつながりの素晴らしさ

「私たちの歌を聴いて、『早く結婚して、家族が持ちたくなりました』と言ってくれた方がいっぱいあったんです。歌の良さだけでなく家族のつながりの素晴らしさを感じてもらえたことに、本当

に感動しました」と、歌う喜びを語るのは、家族コーラス「左座家」でソプラノを担当する左座由紀さん。
「左座家」は、下田口区の左座守さん・由紀さん夫妻と、長男の彰さん、長女の彩音さ

んの4人家族で結成した混声コーラス。平成14年に活動を開始し、平成16年の第19回全国童謡歌唱コンクールで金賞を受賞するなど、県内外で幅広く活躍している。

結成10年目の今年10月には、島根県で初の県外単独コンサートを開催した「左座家」。「響きの中で声が重なって渦巻いているのが見えるように、とても気持ちよく歌うことが

できました」と感想を話す。家族で歌い始めるきっかけとなったのは、守さんの発案。「県外の大会で家族で出場していた人がいたそうで、それならわが家もやってみようかという軽い気持ちでした。子どもたちは小学校低学年で、人前で歌わせることが心配でしたが、ためらいなく『やりたい!』と言ったので結成しました」と当時を振り返る。

最近の練習では「以前は主人に言われるがままだった子どもたちが、成長していくにつれて主人に意見を言うようになってきました」と変化。「それぞれが自分の思っていることを出し合うことで、お互いを高め合うことができていると思います。私は、主人と子どもたちをそれぞれフォローしてうまく調整する役割ですね」とっこり。

活躍の場を広げる「左座家」だが、「子どもたちの受験もあるため、当分は冬ごもりします」と宣言。歌を通して家族のつながりの素晴らしさを伝えるハーモニーを、ぜひもう1度聴きたい。